

第2回旭市民体育祭

スポーツを楽しみながら絆を深める

震 災からの復興を願うとともに、スポーツを通じて絆を深め、明るく元気な旭をつくろうと、市民体育祭が11月20日、東総運動場で開催されました。選手や役員など約5,000人が集まった会場は、綱引き、グラウンドゴルフなど、市内15の小学校区で競う得点種目や、子どもからお年寄りまで参加できるオープン種目でにぎわっていました。吹奏楽や郷土芸能の発表もあり、競技を楽しむ選手たちをはじめ、声援を送る人たちにも爽やかな笑顔が見られました。大会は、中央地区が総合優勝に輝きました。



メインスタンドから送られる元気な声援



力を合わせて綱引き、負けないぞ！

旭市合同金婚式

助け合い支え合って50年



仲良し夫婦です！

11月9日に合同金婚式が開かれ、市内56組の夫婦110人が出席しました。式では、来賓からの祝いの言葉や記念品が贈られました。出席した夫婦の一组は「たまにけんかもするけれど、話し合いをすることで互いのことが理解できるようになる。大変なときもあったけれど、助け合いながら頑張ってきました」と、笑顔で話していました。

スポーツ笑顔の教室

元プロサッカー選手が飯岡小に

11月8日に元プロサッカー選手の都築 龍太さんの、スポーツこころのプロジェクトが飯岡小学校で行われました。体育館では、5年生が都築さんと簡単なゲームを行い、みんな笑顔で楽しそうに触れ合っていました。教室では、都築さんがサッカーを始めたきっかけや、苦しいこと、楽しかったことなどを話しました。話が終わった後、児童たちに感想を聞いてみると「自分の夢に自信が持てた」と笑顔で答えていました。



児童と作戦を立てる都築さん

自らの意見を堂々と

生 涯学習フェスティバルが11月12日、13日の2日間、東総文化会館で開催されました。作品の展示や実践発表のほか、意見発表、文化講演会なども行われ、市内外から約1,400人が会場を訪れました。12日に行われた青少年意見発表大会では、小学生から社会人までの24人が、命の尊さや努力することの大切さ、平和な世界への願いなど、自らの意見を堂々とした態度で発表していました。また13日の文化講演会では、旭市出身で東京大学素粒子物理国際研究センターの小林富雄教授が「素粒子と宇宙～国際競争から国際協力へ～」と題した講演を行い、壮大なスケールの話に、興味深そうに聞き入る観客の姿がありました。



丁寧な手ほどきで楽しめる体験コーナー



堂々とした発表を終え全員で記念撮影



熱心に講演を行う小林富雄教授

平成23年 旭市 10大ニュース

順位	項目
1	東日本大震災発生 -市内でも津波、液状化、福島原発事故により甚大な被害- (3月)
2	天皇后両陛下が旭市を慰問 -温かいお言葉に感激- (4月)
3	旭中央病院新本館での診療がスタート -最先端の高度医療サービスを提供- (5月)
4	旭二中鈴木夢 <small>のぞみ</small> さんが女子砲丸投げで全国優勝 (8月)
5	東総工業高校が全国準優勝 -高校生ロボット相撲全国大会- (11月)

順位	項目
6	大相撲幕内力士が飯岡小学校避難所を慰問 -横綱白鵬関らと相撲交流- (4月)
7	旭市で世界ジュニア卓球選手権大会女子日本代表選手選考会を開催 (9月)
8	第89回熊野神社式年御神幸祭 -12年に1度、伝統の祭り厳かに- (10月)
9	第57回旭市七夕市民まつり～のぼる旭 祈りを込めて～ -笑顔舞う復興祭- (8月)
10	3会場で産業まつりを開催 旭=10月30日、干潟=11月6日、海上=11月23日



(2位)



(7位)



(8位)

11/18 ふるさとの川を守るため



「少しなら……」の行為が汚れのもと。仮想新川(水槽)に洗剤などを入れると濁っていきました。写真右が鈴木さん

新川汚染防止推進大会が、東総文化会館で開かれました。175人が参加した大会では、新川流域市町の小中学生が応募した、啓発作文・ポスター・標語の表彰のほか、県環境教育アドバイザー鈴木優

子さんによる講演や実験などが行われました。

11/22 町の安全はみんなの協力で



小学生に啓発物資を配る隊員

旭地域で防犯活動を行う、旭市エンジョイパトロール隊が、集団防犯パトロールを行いました。市役所での出発式の後、小学校区ごとに別れ、地域の事業所や道行く人たちにチ

ラシを配布するなどして、注意を呼び掛けていました。パトロールに参加した女性は「買い物へ行くときも、なるべく車を使わず、パトロールの帽子をかぶって歩いて行くようにしています」と話していました。

11/23 「歌に国境なし」天使たちが魅了



美しいハーモニーが響き渡った

モスクワ少年合唱団とあさひ少年少女合唱団のジョイントコンサートが、東総文化会館で開かれました。少年少女合唱団の子どもは「震災により、多くの外国人が来日をや

めてしまう中、モスクワ少年合唱団は来てくれた。また一緒に歌えることになってうれしい」と話しました。「天使の歌声」が、訪れた人たちを魅了していました。

11/26 地域福祉の推進を図る



作文を読み上げる高木梓沙さん(萬歳小6年)

第7回旭市社会福祉大会が東総文化会館で開催され、約300人が参加しました。社会福祉の発展に功労のあった人の表彰、女優の久里千春さんによる記念講演などのほか、社会

福祉作文の発表が行われました。萬歳小6年の高木梓沙さんと飯岡中1年の立山育実くんが発表し、身近な体験などから学んだ、助け合うことや思いやりの大切さについて話していました。

健康体カづくりフェスティバル

軽スポーツで世代間交流



和やかな雰囲気ですプレーを楽しむ参加者

軽スポーツを通して互いに交流を図ろうと11月27日、旭スポーツの森公園で健康体カづくりフェスティバルが行われ、お年寄りや小学生700人が、爽やかに汗を流しました。

芝生広場で行われたグラウンドゴルフでは、小学生たちがお年寄りから手ほどきを受けながら、楽しそうにコースを回る姿が見られました。子どもたちにスコアの付け方を教えていた女性は「子どもは覚えるのが早い。すぐに上手になっちゃったよ」と驚いた様子で話しました。また総合体育館で行われたドッジボール大会では、11校24チームで熱戦が繰り広げられ、飯岡小マリナース、チーム中央、矢指ファイティングレッズ、三川小A、鶴巻小Aの上位5チームが、1月29日に行われる海匠大会の切符を手にししました。

旭市小学校音楽会

互いの演奏をたたえ合う

東 総文化会館で11月10日に、市内15の小学校が集まり、音楽会が行われました。会場は児童や保護者など800人が、演奏する児童たちをじっと見つめながら鑑賞していました。ほかの小学校の演奏を聞いていた児童たちは「すごい、よかった」など、感心していました。

児童たちの息の合った演奏に、訪れた人たちも静かに聞き入っていました。



息の合った合唱と手話を披露(萬歳小)

※「スポーツ笑顔の教室」「合同金婚式」「旭市小学校音楽会」の記事は、職場体験学習で市役所へ来た二中の2年生6人(片山翔樹くん、茂木悠一郎くん、伊藤理人くん、高橋友利恵さん、水嶋祐大くん、石橋達弘くん)が、実際に撮影、取材し仕上げたものです。